

授業科目 日常生活援助論 I	区分・教育内容		
	専門分野 I 基礎看護学		
授業担当者 齊藤 豊子 (専任教員)	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 対象の理解と看護実践の基礎となる技術を習得する。			
授業の目標 1. 日常生活行動の意義を理解し、ボディメカニクスに基づいた移動動作・体位変換の技術を習得する。 2. 休息と睡眠に関する援助方法を習得する。			
授業概要 人間は本来、自分の意思どおりに行きたいところに行き、目的に応じて適切に身体を動かし、必要であれば適度な休息や睡眠をとる能力をもっている。日常生活における活動と休息の意義・身体の仕組みを理解したうえで、活動を制限されることによる身体的・精神的・社会的影響を学習し、活動制限のある患者に対する援助方法を学ぶ。また休息と睡眠に関する援助方法を学ぶ。			
授業計画(進め方) 1 回目 活動・休息援助技術 基本的活動の基礎知識・廃用症候群・良肢位・関節可動域訓練 2 回目 良肢位・関節可動域訓練の実際 (演習) 3 回目 ボディメカニクス 4 回目 体位変換・移動・移送 5・6 回目 体位変換の実際・水平移動 ・側臥位 (演習) 7 回目 移動の実際 ・歩行介助 ・杖 ・歩行器 (演習) 8・9 回目 移乗の実際 ・車椅子 ・ストレッチャー (演習) 10 回目 睡眠・覚醒の援助 11 回目 褥瘡予防① 12 回目 褥瘡予防② 13 回目 苦痛の緩和・安全確保の技術・電法 14・15 回目 褥瘡予防の実際 ・体圧測定 ・体圧分散用具の使用 (演習) 電法の実実際 ・温電法 ・冷電法 (演習)			
テキスト 系統看護学講座 専門 I 基礎看護技術 II 医学書院 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第 1 版 メディックメディア フィジカルアセスメントがみえる 第 1 版 メディックメディア			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験・レポート・演習での取り組み状況から総合的に評価する。			

